

# さきたま古墳公園における「子どもの遊び場」の整備事業に係る 民間活力導入検討に関するサウンディング型市場調査

---

## 基礎資料

---

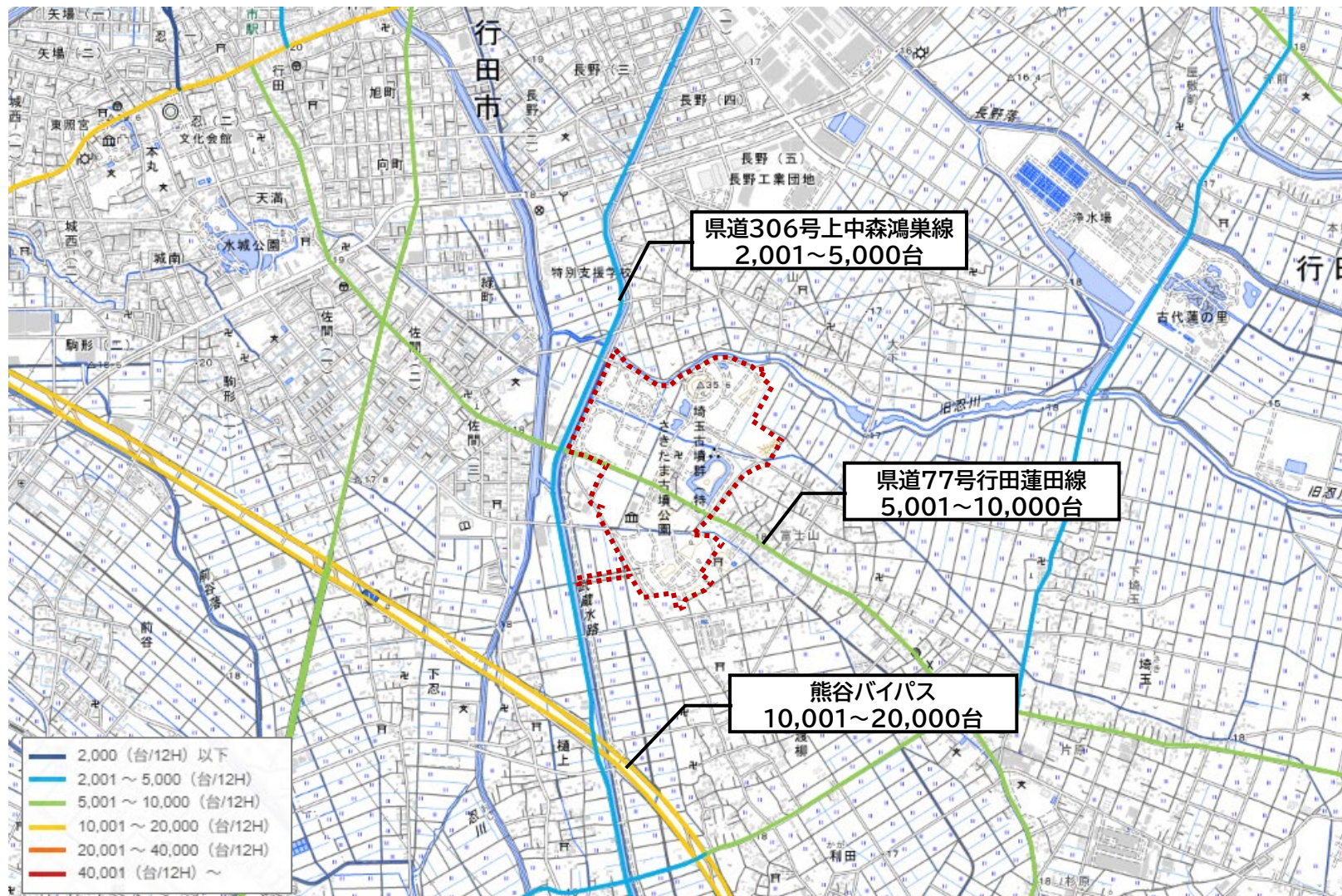
2026年 1月

行田市 健康福祉部 子ども未来課

1. 周辺道路の交通量
2. 土地区分
3. さきたま古墳公園の利用状況
4. 周辺主要観光施設
5. 周辺主要集客施設・イベント
6. 近隣自治体の子育て支援施設
7. 市内児童センター及び地域子育て支援拠点
8. 市民意向調査の結果

## ■ 周辺道路の交通量

○ 昼間12時間における周辺道路の車両交通量は以下のとおり。

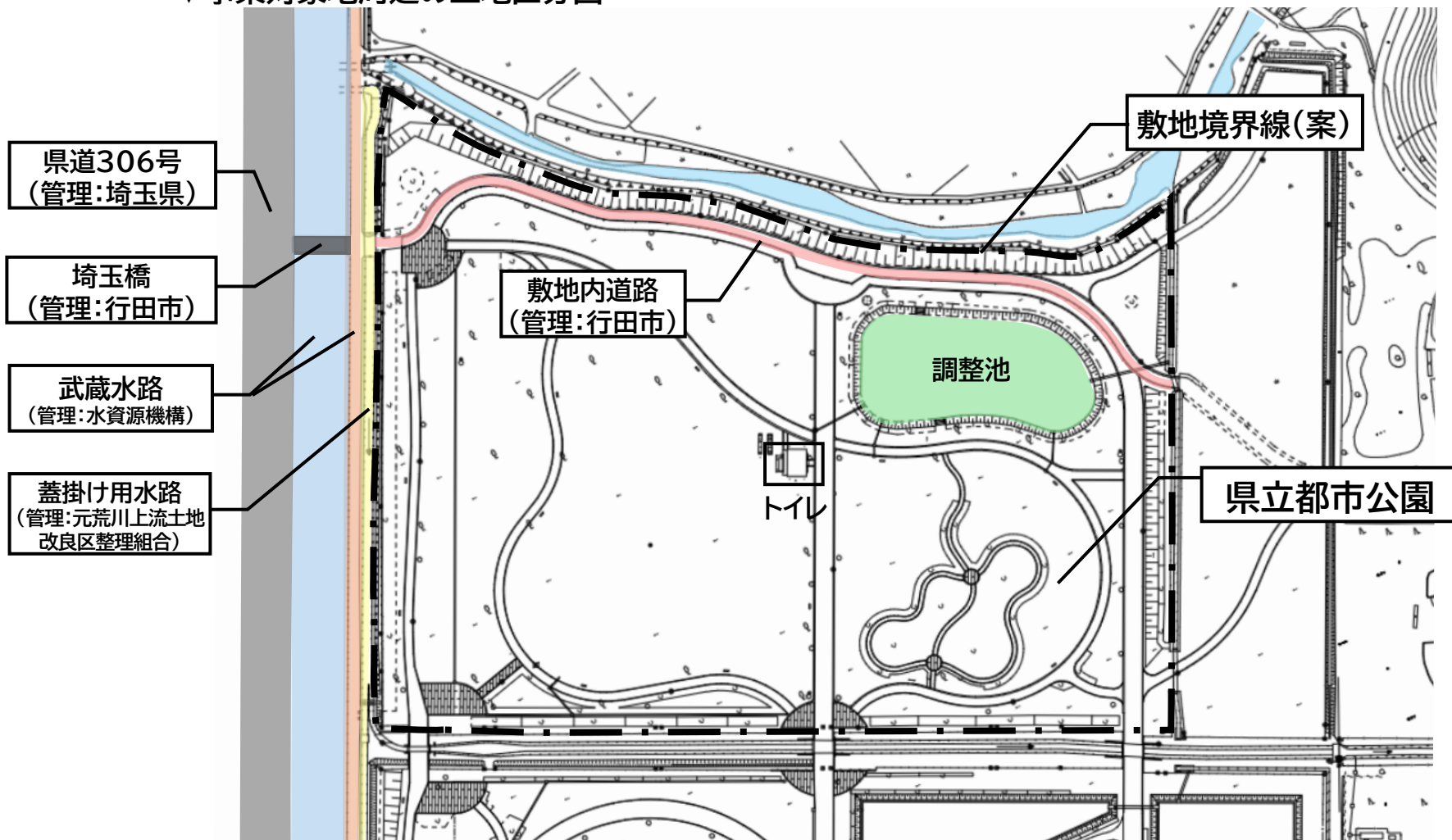




### ■所有区分等

○敷地は埼玉県が設置・管理する都市公園であり、敷地西側には県道306号線、敷地北西部には市道の埼玉橋が整備されている。既存建築物の状況については確認中である。

#### ▼事業対象地周辺の土地区分図



# 3. さきたま古墳公園の利用状況

Confidential

## ■主要施設・イベント状況

○概要と利用状況を以下に示す。

主要施設だけでなく、毎年開催されるさきたま火祭りと古墳フェスティバルには多くの参加者が訪れる。

主な施設	①埼玉県立さきたま史跡の博物館	②観光物産館さきたまテラス	③はにわの館
	 <p>国指定特別史跡「埼玉古墳群」等貴重な文化財を展示 【年間利用者数】約9万人</p>	 <p>はにわグッズや御墳印、地元グルメ等のお土産品の販売、カフェスペース 【年間利用者数】約20万人</p>	 <p>はにわ作り体験、土笛作り体験、展示、手作りはにわの販売 【年間利用者数】約1.6万人</p>

イベント	④さきたま火祭り	⑤古墳フェスティバル
	 <p>古事記の神話を再現した松明行列や産屋への点火を行う幻想的な火の祭典 【動員数】約80,000人(R7)</p>	 <p>古墳の魅力を伝えるため、熱気球体験やマルシェ、ライブ等を行う市民参加型イベント 【動員数】約15,000人(R6)</p>



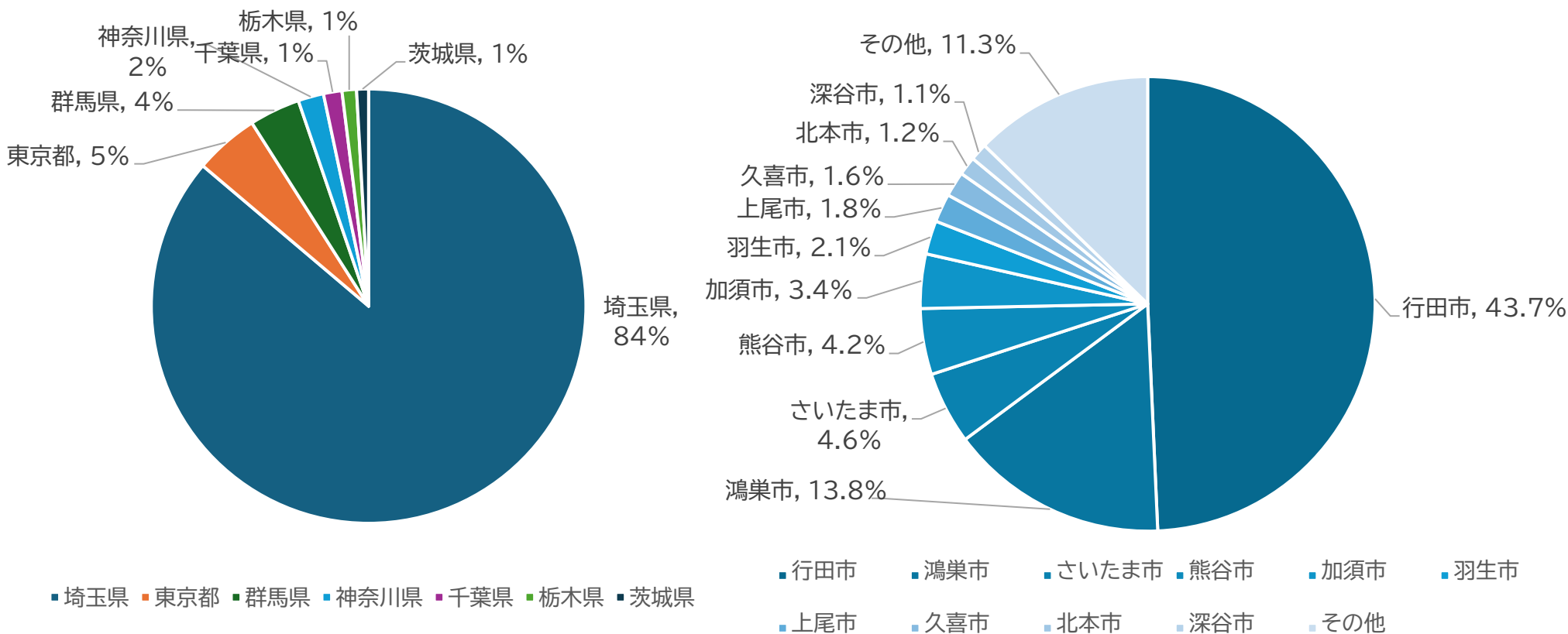
施設位置・イベント実施場所

### 3. さきたま古墳公園の利用状況

Confidential

■来訪者属性(居住地) (2024/11/1~2025/10/30の期間の来訪者を対象に集計)

○人流ビッグデータを基に集計すると、埼玉県内からさきたま古墳公園に訪れる利用者が約8割を占め、隣接する東京都、群馬県から訪れる利用者が5%程度ずつみられる。埼玉県内からさきたま古墳公園に訪れるのは、行田市民が全体の半数近くを占め、隣接する鴻巣市民が次に続く。



※:人流ビッグデータ

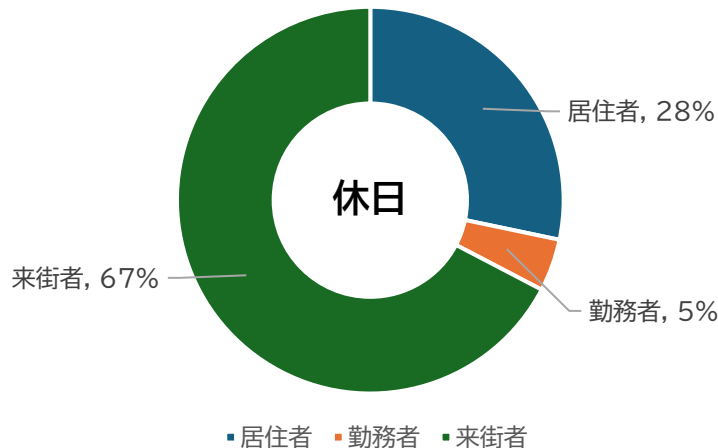
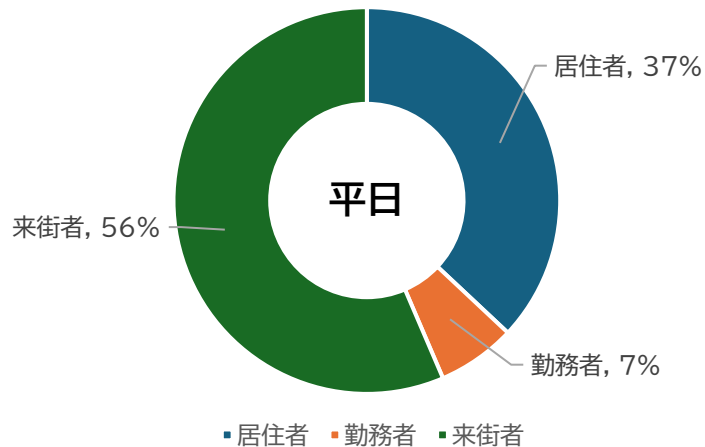
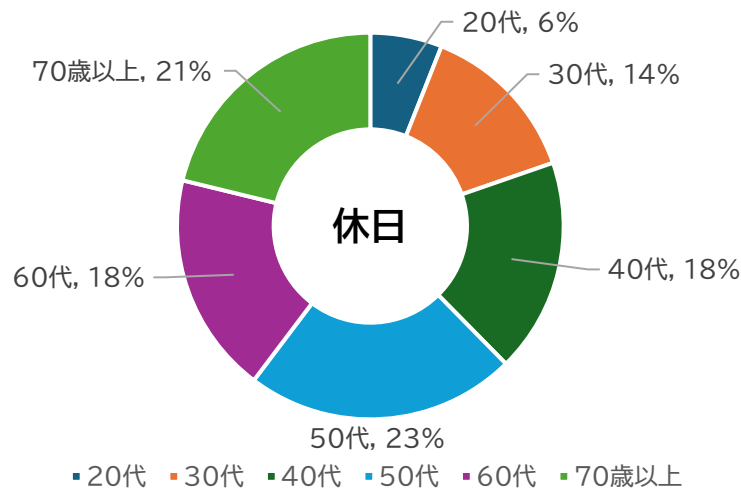
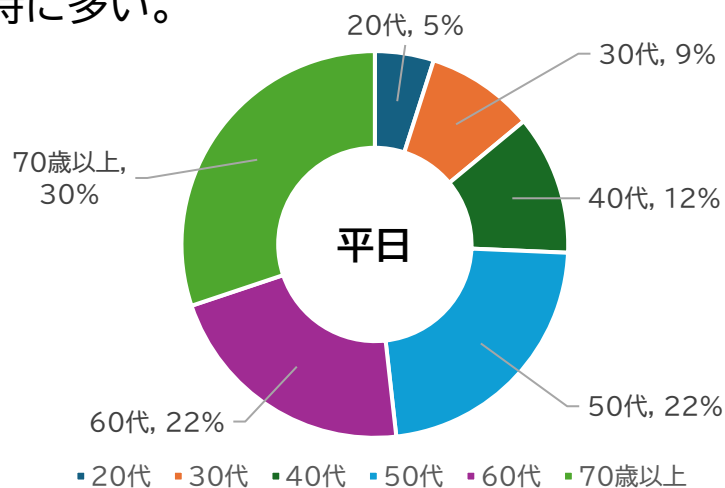
データ提供:KDDI・技研商事インターナショナル「KDDI Location Analyzer」調査に用いたデータは au(KDDI)スマートフォンの位置情報ビッグデータ。(auスマートフォンユーザーからの同意に基づき取得し、個人が特定できない形式に加工した位置情報および属性(性別・年齢層)情報データ)・データには 20 歳未満、およびインバウンド観光利用者のデータは含まれません。・分析結果の数値は全人口推計値(サンプルを、国勢調査の市区町村別・性年代別人口に基づいて拡大した値)となります。

# 3. さきたま古墳公園の利用状況

■来訪者属性(年代・種別) (2024/11/1~2025/10/30の期間で、15分以上滞在した来訪者を対象に集計)

○平日・休日ともに、6割以上が50代以上の来訪者で、平日には7割以上となっている。休日には30~40代の来訪者がそれぞれ5%程度増加している。

○平日・休日ともに、さきたま古墳公園から5km圏域外からの来訪者が約6割程度を占め、休日は特に多い。



※:人流ビッグデータ

データ提供:KDDI・技研商事インターナショナル「KDDI Location Analyzer」調査に用いたデータは au(KDDI)スマートフォンの位置情報ビッグデータ。(auスマートフォンユーザーからの同意に基づき取得し、個人が特定できない形式に加工した位置情報および属性(性別・年齢層)情報データ)・データには 20 歳未満、およびインバウンド観光利用者のデータは含まれません。・分析結果の数値は全人口推計値(サンプルを、国勢調査の市区町村別・性年代別人口に基づいて拡大した値)となります。

# 4. 周辺主要観光施設

○忍城址や古代蓮の里、田んぼアート、足袋蔵、水城公園など、**観光客や市民を魅了する歴史・文化資源、観光資源が点在している。**



**忍城址・行田市郷土博物館**  
忍城址は関東七名城の一つで、映画「のぼうの城」ゆかり  
【年間利用者数】博物館は約8万人(R6)  
【イベント】花手水Week、ライトアップイベント等



**古代蓮の里**  
古代蓮と行田タワーの展望を楽しめる水辺景観豊かな観光公園  
【年間利用者数】約15万人(R5.6-8月)  
古代蓮会館は約12万人(R5)



**世界最大の田んぼアート**  
高さ50mの行田タワー展望台から観覧  
【イベント】グッズ販売、田植え体験(6月)、稲刈り体験(10月)等



**足袋蔵**  
県内初の日本遺産に登録されている構成資産である足袋蔵  
【イベント】花手水&足袋蔵めぐりスタンプラリー



**足袋と暮らしの博物館**  
展示物や足袋職人による実演を見学  
【年間利用者数】約2000人(R6)  
【イベント】My足袋作り体験等



**水城公園**  
忍城の名残の堀等を基に整備した公園  
【イベント】春の桜まつり、ホテイヤオイ観賞イベント等



**ヴェールカフェ**  
大正11年に建てられた金融機関の店舗を活用して趣ある木造の洋風建築のカフェ  
【イベント】花手水Week、ライトアップイベント



**行田八幡神社**  
行田総鎮守、花手水発祥の神社  
【年間利用者数】約27万人(R5)  
【イベント】花手水Week(毎月)、ライトアップイベント等



**前玉神社(さきたま神社)**  
埼玉県名の発祥地とされる古社で、古墳の上に社殿が建つ  
【イベント】花手水Week(毎月)、七五三・初詣等の季節行事

# 5. 周辺主要集客施設・イベント

Confidential

○周辺主要観光施設以外で、主要な集客施設・イベントは以下のとおり。

## 市外向け観光施設



**行田・湯本天然温泉 茂美の湯**  
希少な純重曹泉を有する、行田市の日帰り天然温泉施設  
【イベント】季節ごとの温泉イベント  
食事処で地元食材フェア



**行田天然温泉 古代蓮物語**  
行田の日帰り温泉、源泉かけ流しの岩風呂がある露天風呂など  
【イベント】古代蓮関連展示、季節限定メニュー提供等



**観光物産館「ぶらっと♪ぎょうだ」**  
和モダンな雰囲気観光物産館  
【年間利用者数】約20万人（R5年度）  
【イベント】地元特産品フェア  
行田足袋・古墳グッズ販売

## 市民向け公共施設



**行田市教育文化センターみらい**  
市民の生涯学習活動の拠点施設。ホール、中央公民館、図書館、視聴覚ライブライ  
【イベント】文化ホールイベント、地域イベント、学習体験イベント等



**産業文化会館(ベルプラス)**  
公共の複合文化施設  
【年間利用者数】約56,000人  
【イベント】地域文化振興事業等



**行田市総合運動公園**  
野球場、テニスコート、陸上競技場などスポーツ施設、広い芝生広場  
【イベント】市民スポーツ大会、マラソン大会等

## イベント



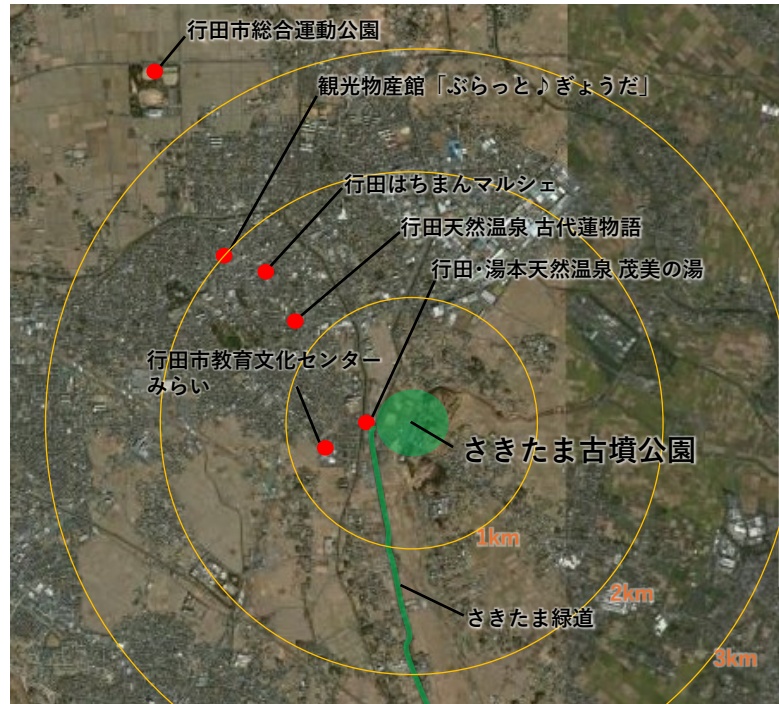
**花手水week・ライトアップ イベント**  
地域全体の商店や民家の軒先で花手水を設置、月に一回のライトアップ イベントも開催  
【年間来場者数】  
ライトアップ イベント約4.6万人(R6年度)



**行田はちまんマルシェ**  
八幡通りに野菜等、加工品、特産品、飲食物、手工芸品等のお店が出店  
【イベント】新鮮野菜・果物販売、ハンドメイド作品、キッチン等



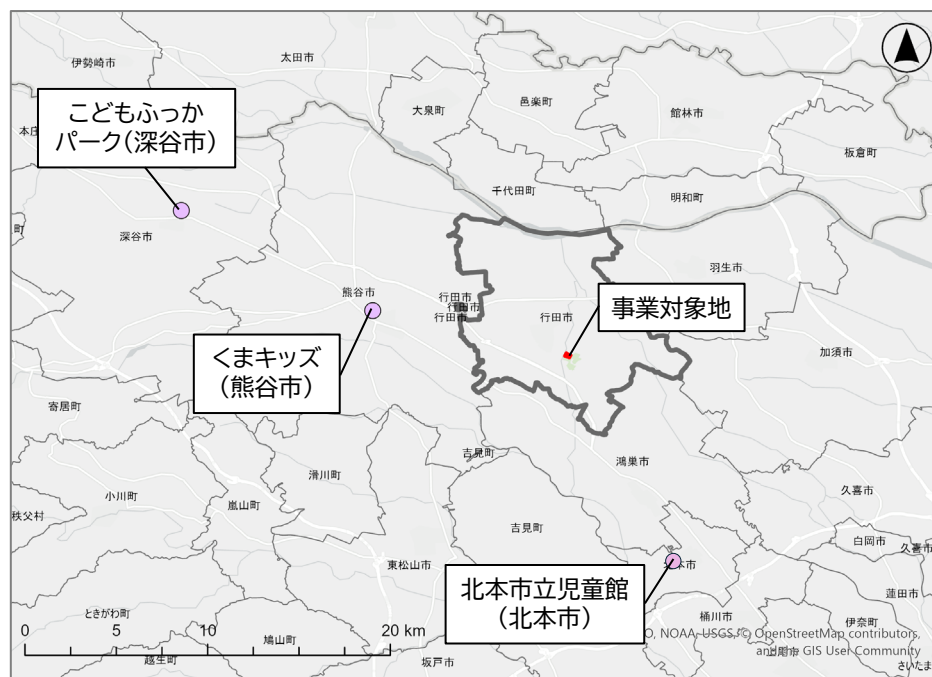
**さきたま緑道**  
北鴻巣駅から古墳公園に至る全長4.5Kmで彫刻展示が楽しめる緑道  
【イベント】アートイベント、ウォーキングイベント



# 6. 近隣自治体の子育て支援施設

○行田市周辺の自治体においては、子育て支援施設として多様な機能を備えた施設が整備されつつあり、次年度以降には、深谷市や熊谷市など近接する地域で類似した施設のオープンが予定されている。

## ▼近隣自治体の子育て支援施設位置図



## 北本市立児童館 (北本市)

市役所の新庁舎整備に合わせて新設された児童館で、あそびを通じて子ども同士、保護者同士が交流できる場として日常的に利用されている。体を動かして遊べる体育遊戯室や、創造性を豊かにする創作活動室、乳幼児室など、乳幼児から小学生まで発育段階に応じてそれぞれが遊べる環境が整っている。

【階数】3階建て（1階子ども図書館、2・3階児童館）

【設置形態】屋内（屋外に広場あり（遊具無））

【児童館の延床面積】1449.44㎡

【児童館の機能】

**みんなの広場（ボールプール）**、乳幼児室、創作活動室、読書コーナー、集会室・会議室、食事スペース、授乳室、相談室、**体育遊戯室**、**屋上テラス**等

（※太字：施設内一定の面積を占める機能）



## 6. 近隣自治体の子育て支援施設

○行田市周辺の自治体においては、子育て支援施設として多様な機能を備えた施設が整備されつつあり、次年度以降には、深谷市や熊谷市など近接する地域で類似した施設のオープンが予定されている。

### くまキッズ（熊谷市）

R8年4月オープン予定

妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援や保健活動の充実・強化を目的に、遊び・学び・相談・保育・医療等の子育てに欠かせない機能を備えた子育て支援施設を整備。屋内外の子どもが遊び、学ぶ場や中高生の居場所となるスペース、子育て支援事業を行う子育て広場、保育所、保健センターや休日・夜間急患診療所等、子育て支援に特化し、市民に寄り添う機能が多く備わっている。

【階数】2階建て（こども館、児童クラブ、保育所、保健等、併設）

【設置形態】屋内・屋外（舗装広場等、遊具有無不明）

【こども館の延床面積】約2,100㎡（公表されている室面積合算）

【こども館の機能】

**エントランスホール**、**プレイルーム**、**軽体育室**、乳幼児室、子育て広場、くまっこるーむ（子育て支援室）、工作室、視聴覚室、多目的室、集会室、音楽スタジオ、ダンススタジオ、自習室、中高生スペース、調理室、託児室、飲食スペース、コワーキングスペース、授乳・搾乳室、事務室 等  
（※太字：施設内一定の面積を占める機能）



### こどもふっかパーク（深谷市）

R8年4月オープン予定

0歳から18歳のこどもたちが安心して遊び・学ぶことができ、保護者同士が交流し相談できる施設として整備。市内全域から子どもたちが集まり、天候に関わらず遊ぶことができ多様な交流や体験もできる場所を創出。自由に遊べる体育室や、エリアごとに活発な遊びから落ち着いた遊びまで楽しめるプレイホール、子育てに関する相談ができる相談室や一時預かり室など、多様な機能を備えている。

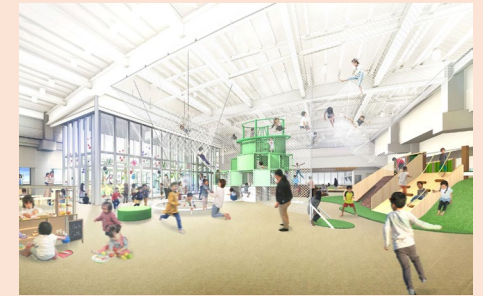
【階数】2階建て（1階幼稚園、当該施設は1階一部と2階）

【設置形態】屋内・屋外（園庭（遊具有無不明））

【当該施設の延床面積】3,233㎡

【当該施設の機能】

**エントランスホール**、**アソビバ（大型プレイホール）**、**わんぱくアリーナ（体育室）**、**アビルバ（水遊び場）**、**ケイコバ（多目的スタジオ）**、**マナビバ（自習室）**、**ヨメルバ（図書室）**、**ツクルバ（工作・調理室）** 等  
（※太字：施設内一定の面積を占める機能）



# 7. 市内児童センター及び地域子育て支援拠点

Confidential

○常設されている市内の屋内子ども遊び場は、18歳未満を対象とした「児童センター」、妊婦や未就学児を対象とした「きっずプラザあおい」がある。各施設の内容、規模、利用者数は以下のとおり。

分類	児童センター	地域子育て支援センター
名称	児童センター	きっずプラザあおい
所在	行田市本丸5-10	行田市佐間1-11-3
	コミュニティセンター内	水城公園内
写真		
延床面積	444.81㎡	197.08㎡
機能	屋内遊び場、屋外遊び場（複合遊具、室外遊具貸出）、休憩室、創作室	屋内遊び場、屋外遊び場（ふわふわドーム、滑り台）、子育て相談、休憩施設、授乳室、おむつ交換スペース
開設日時	10～17時30分 （毎週水曜日、第3日曜日、国民の祝日を除く）	8時30分～17時 （12月29日～1月3日を除く）
対象	18歳未満（乳幼児は保護者同伴）	妊婦、就学前の子どもとその保護者
利用者数	令和7年4月～8月までで4,010人	令和6年度で12,998人
除却予定等	同センターが入る「コミュニティセンターみずしろ」が2038年に除却予定	—

# 8.市民意向調査の結果(速報)

Confidential

○行田市内の子どもの遊び場等の利用実態を把握するとともに、さきたま古墳公園における子どもの遊び場の整備等に関するニーズ等を調査した。

## ▼調査概要

回答期間	12月9日～12月23日
調査方法	WEBアンケート
回答対象者	行田市民を中心とした公園利用者
回答者数	648件
実施内容	<ul style="list-style-type: none"><li>・行田市の子どもの遊び場の利用状況や他市との差別化のポイント、課題・ポテンシャルを確認する。</li><li>・さきたま古墳公園の周知度や訪問歴の有無などの利用状況等を確認する。</li><li>・基本構想及び基本計画における導入機能の検討にあたって、「<u>さきたま古墳公園でどんな活動をしてみたいか</u>」、意見を伺う。</li></ul>
周知方法	行田市HPやSNS媒体等

さきたま古墳公園「子どもの遊び場」整備  
についてのアンケートを実施します

いいね! シェアする X ポスト

更新日：2025年12月09日

さきたま古墳公園「子どもの遊び場」整備のアンケートについて

市では、さきたま古墳公園内に季節や天候を問わず楽しめる、屋内外型遊び場を含めた「子どもの遊び場」の整備を進めています。多くの方にとってより良い遊び場となるようアンケートのご協力をお願いします。

回答期間

令和7年12月9日（火曜日）から令和7年12月23日（火曜日）まで

回答方法

以下のURLにアクセスし、回答してください。

<https://forms.office.com/r/zW8QUawAfN>



関連ページ

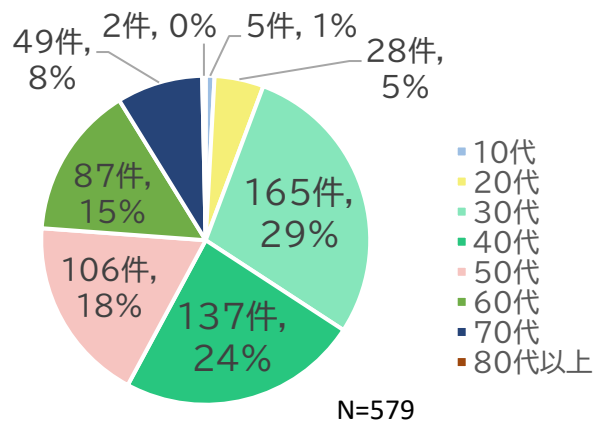
● さきたま古墳公園「子どもの遊び場」整備の概要について

# 8.市民意向調査の結果(速報)

Confidential

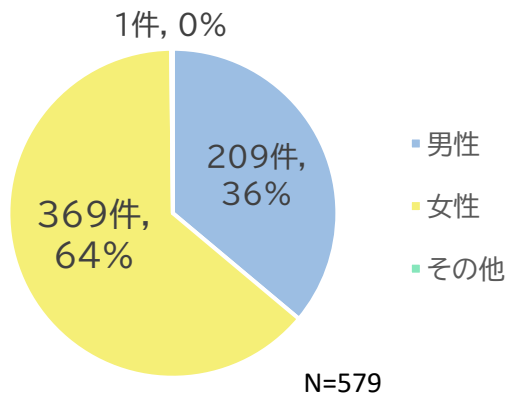
## ○さきたま古墳公園の認知度・利用状況について

・年代



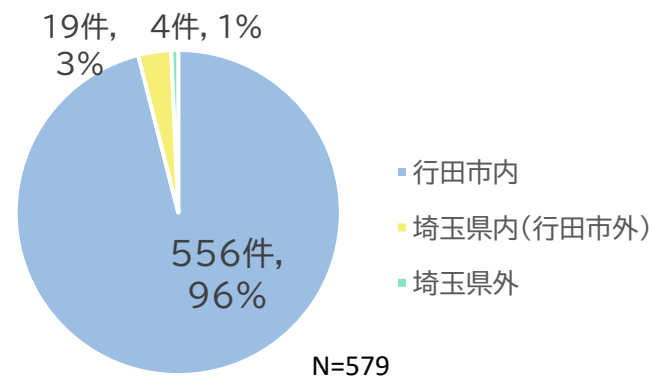
「30代」が3割弱

・性別



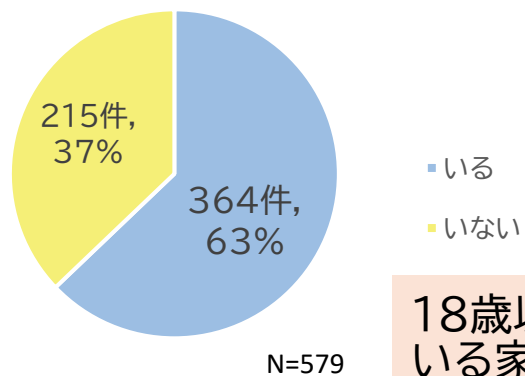
「女性」が6割

・居住地



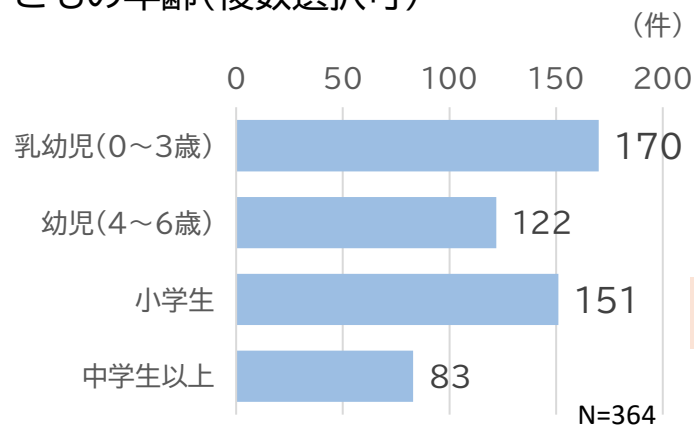
「市内」が9割強

・18歳以下の子どもの有無



18歳以下の子どもが  
いる家庭が6割

・子どもの年齢(複数選択可)

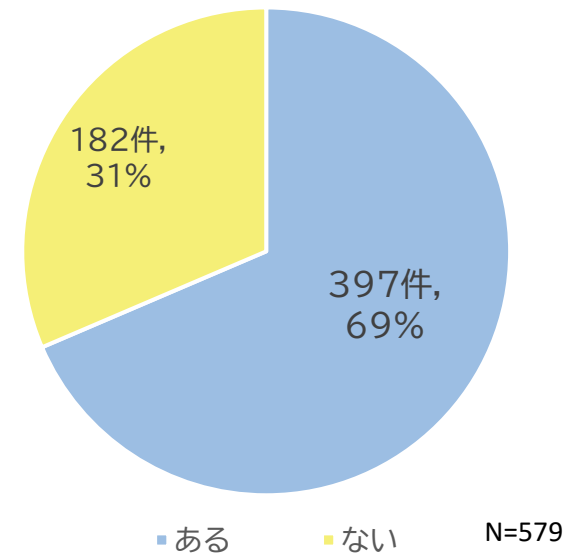
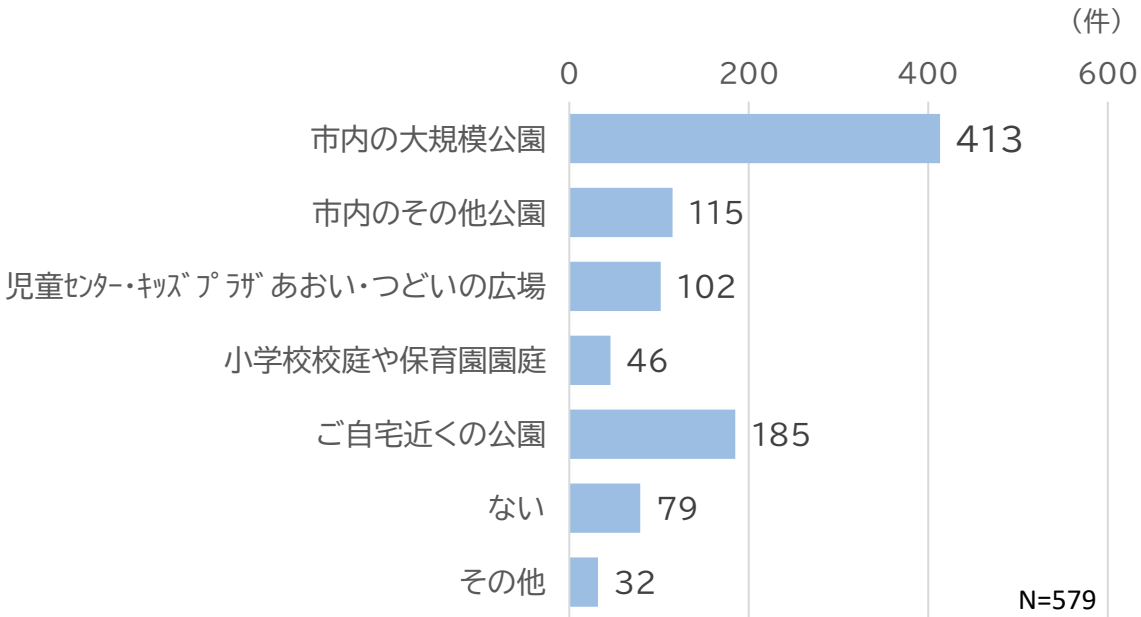


「乳幼児」が170件

## ○現在の市内外の子どもの遊び場の利用状況について

・市内でよく利用する子どもの遊び場(複数選択可)

・近隣他市町村の遊び場の利用有無



「市内の大規模公園」が413件と最も多く、次いで「自宅付近の公園」が185件と多い

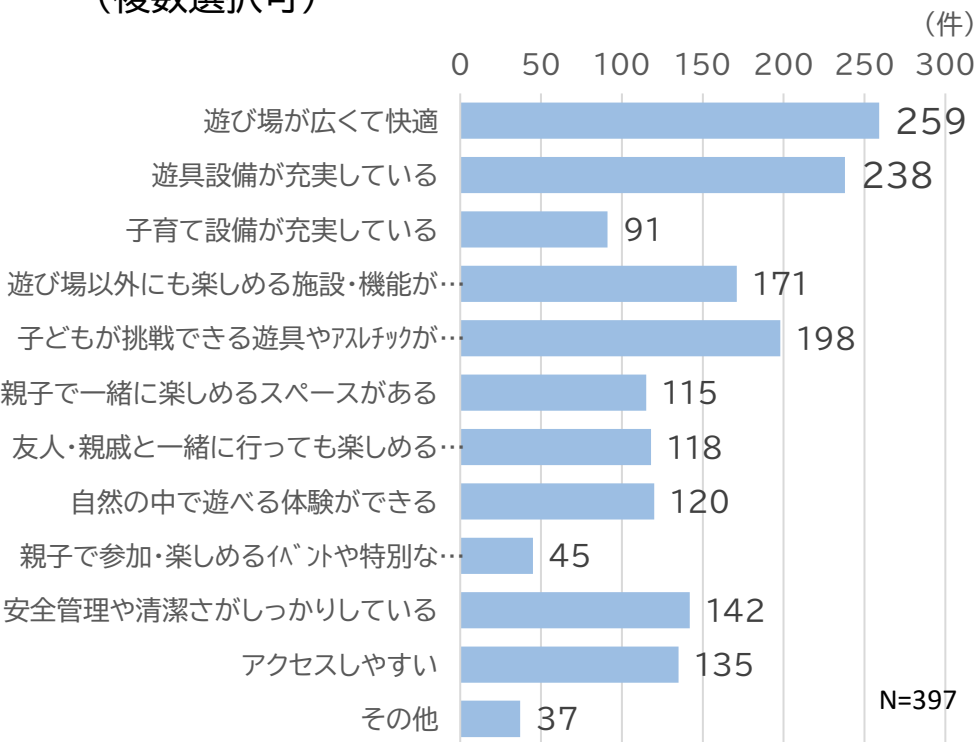
「利用したことがある」が約7割

# 8.市民意向調査の結果(速報)

Confidential

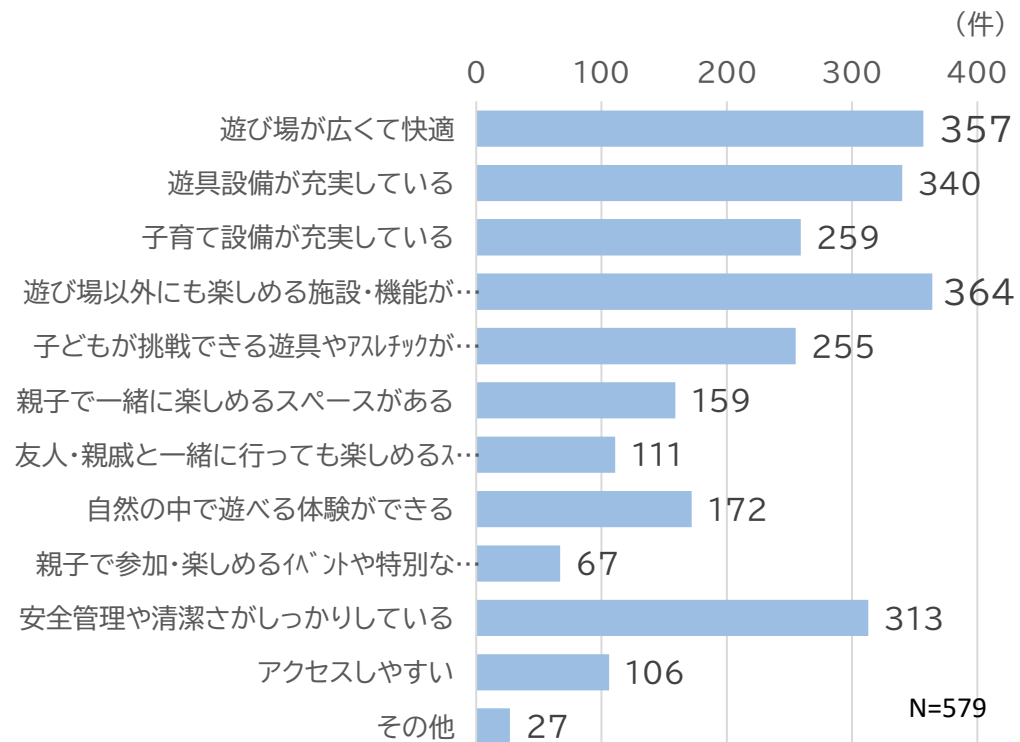
## ○市外の子どもの遊び場を利用した理由と子どもの遊び場に求める機能

・近隣他市町村で利用した施設の「利用した理由」  
(複数選択可)



「遊び場の広さ」が259件と最も多く、次いで「遊具施設の充実」が238件と多い

・子どもの遊び場に求める機能(5つまで選択可)



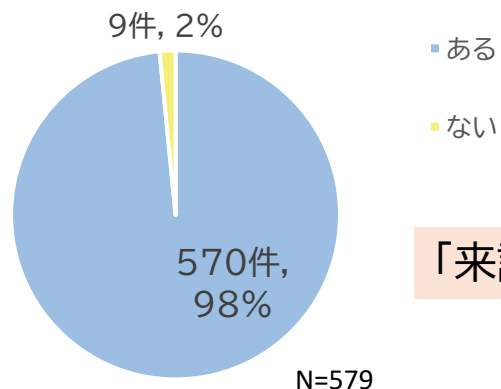
「遊び場以外にも楽しめる施設・機能がある」が364件と最も多く、次いで「遊び場の広さ」が357件と多い

# 8.市民意向調査の結果(速報)

Confidential

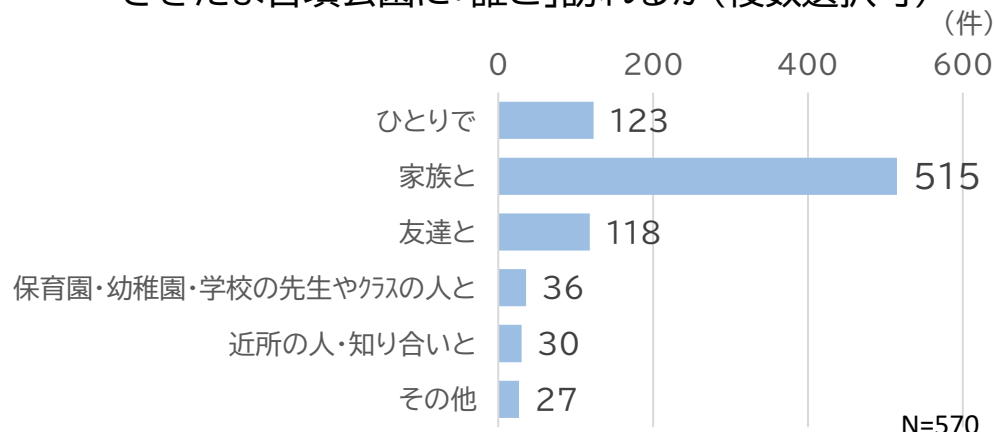
## ○さきたま古墳公園の認知度・利用状況について

### ・さきたま古墳公園の来訪有無



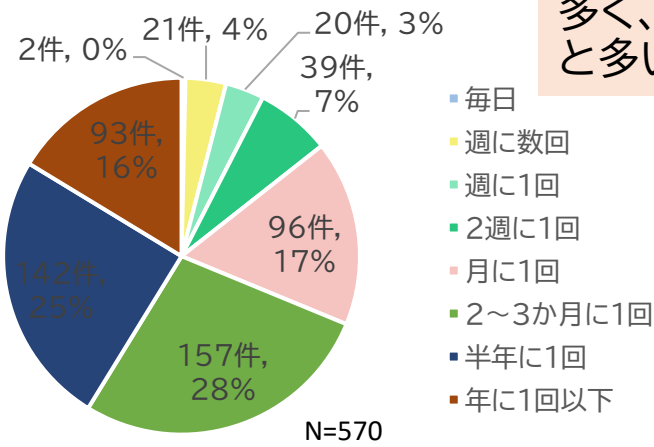
「来訪あり」が9割強

### ・さきたま古墳公園に「誰と」訪れるか(複数選択可)



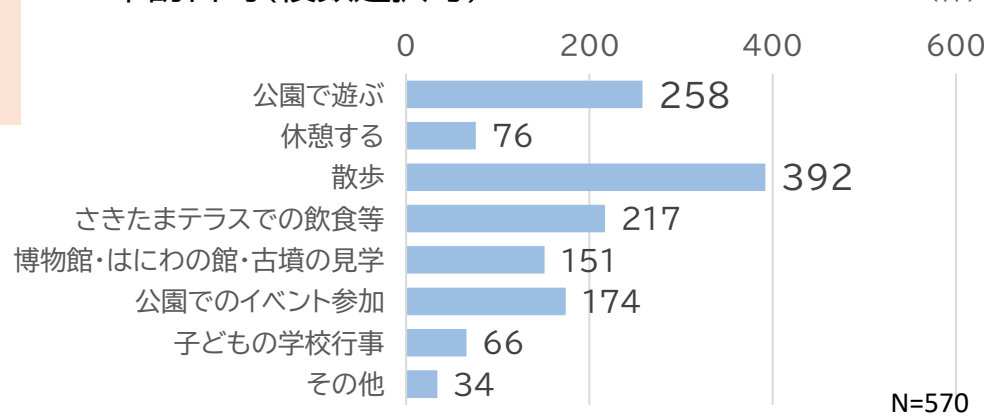
「家族との来訪」が515件と最も多い

### ・来訪頻度



「2~3か月に1回」が最も多く、次いで「月に1回」と多い

### ・来訪目的(複数選択可)



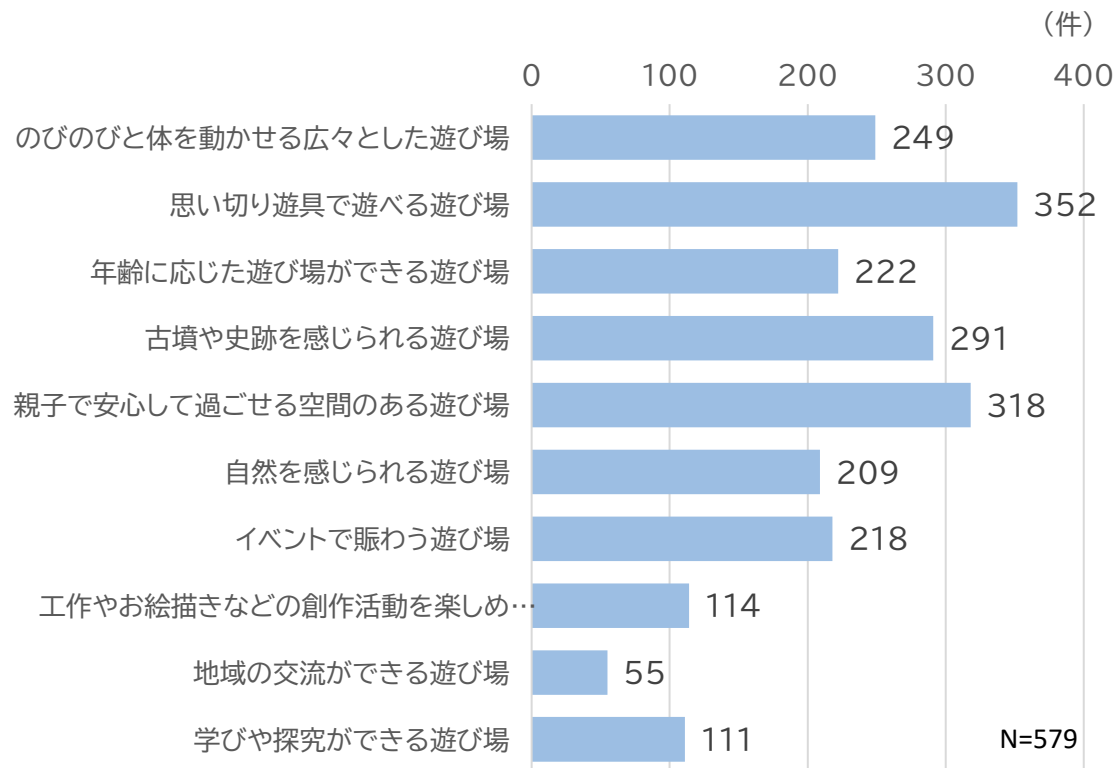
「散歩」が392件と最も多く、次いで「公園で遊ぶ」が258件と多い

# 8.市民意向調査の結果(速報)

Confidential

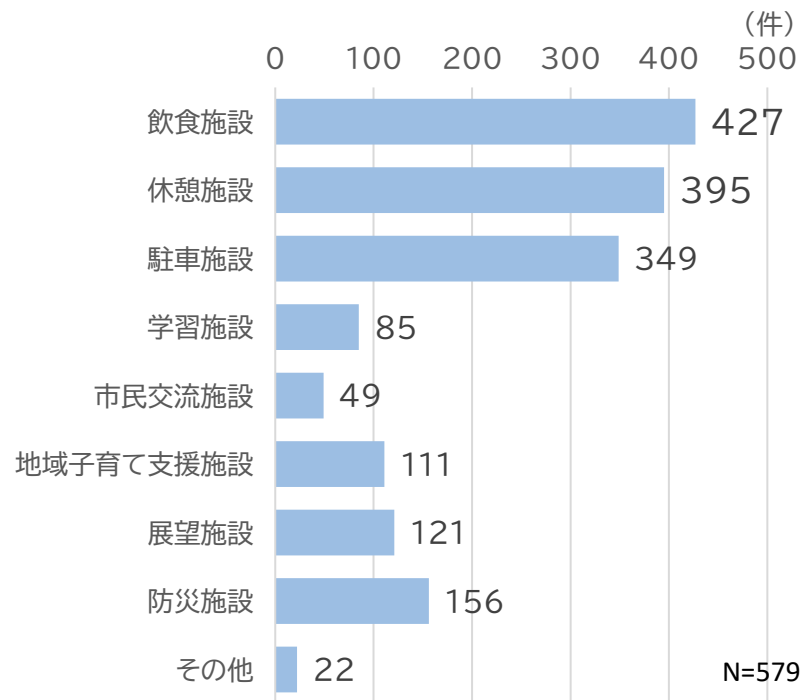
## ○さきたま古墳公園に求める遊び場像や必要機能について

・「古代の森・草原エリア」において、求める「子どもの遊び場イメージ」(5つまで選択可)



「思い切り遊具で遊べる遊び場」が352件と最も多く、次いで「親子で安心して過ごせる空間のある遊び場」が多い

・子どもの遊び場と一緒に求める「施設イメージ」(4つまで選択可)



「飲食施設」が427件と最も多く、次いで「休憩施設」が多い